
コーディネーター 佐藤 亮太郎（非常勤講師）

■授業の概要

本科目は対面方式で実施する。

本講義では、児童生徒の心身の発達や学習の過程について取り扱う。初回はイントロダクションとし、応用心理学としての教育心理学の範囲や基礎心理学との関連、教育心理学の観点から教育実践を捉えることについて講義する。第2回から第6回は主に運動や認知、言語、社会性の発達について講義する。第7回から第14回までは学習に関する基本的な理論や、教育実践における応用方略について講義する。第14回は本講義の内容の総括と教育心理学の学問的展望について講義する。

■教育目標（ねらい）

教育目標は、学校教諭として教育実践を行うために必要な心理学に関する諸理論及びそれらの理論に基づいた実践方略を習得することである。具体的には、児童生徒の運動や認知、言語、社会性の発達や児童生徒の学習に関する諸理論及び実践方略を習得することを目標とする。

■到達目標

- ・教育心理学の観点における児童生徒の発達に関する基本的な理論を理解する。
- ・教育心理学の観点における児童生徒の学習に関する基本的な理論を理解する。
- ・教育心理学の知見に基づく、教育実践の基本的な方略を習得する。

■成績評価の方法・基準

- ・復習課題（60%）
- ・授業中の活動における発表（40%）

評価項目全体の60%以上で合格とする。

■教科書・参考文献

参考文献

鹿毛雅治・山崎準二（2018）『発達と学習』学文社

藤崎真知代・松村茂治・水戸博道（2015）『教育発達学の構築-心理学・教育学・障害科学の融合-』風間書房

松永あけみ・水戸博道・渋谷 恵編著（2020）『教育発達学の展開-幼小接続・連携へのアプローチ-』風間書房

その他、各授業で参考文献を提示する。

■履修条件

なし。

■準備学修（予習・復習等）

次回の授業で検討する予定の課題について予習しておくこと。

学習内容の定着のために、受講した講義内容について復習しておくこと。

新聞やニュース等で、教育に関連する記事等を閲覧しておくことが望ましい。

■1回の授業当たりの準備学修（予習・復習等）に必要な時間

4時間

■課題に対するフィードバック

各課題に関しては、必要に応じてコメントを付して返却する。

また、各講義の始めに、前回の講義について寄せられた質問や意見の紹介や解説を行う。

■オフィスアワー

メールによる連絡でアポイントメントを取得して下さい。

■連絡先

ryo-satoh#azabu-u.ac.jp

#を@にして、連絡を下さい。

回数	担当者	授業内容
1	佐藤	イントロダクション 発達・学習の生得的基盤-動物の学習と人の学習-
2	佐藤	発達・学習の生得的基盤②-遺伝と環境-
3	佐藤	知性の発達-発達段階という考え方-
4	佐藤	社会性の発達-他者の理解と道徳性-
5	佐藤	運動の発達-運動体力と運動コントロール能力-
6	佐藤	言語の発達-人が言葉を話す仕組み-
7	佐藤	学習と思考-記憶のメカニズム-
8	佐藤	動機づけと学習-主体的な学習態度を育む-
9	佐藤	コミュニケーションと学習①-他者との共同による学習-
10	佐藤	コミュニケーションと学習②-教師のコミュニケーションと社会的規範-
11	佐藤	学習の評価-評価の方法と信頼性、妥当性-
12	佐藤	発達の障害と適応-神経発達症の理解-
13	佐藤	学習と発達を活かす教育環境①-学習者を取り巻く環境-
14	佐藤	学習と発達を活かす教育環境②-教育環境のデザインと実践-

【教育の基礎的理解に関する科目】

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

■アクティブラーニング

対話・議論型授業、ロールプレイング、グループワーク、双方向アンケート

■実務家教員

○

閉じる

印刷